

令和8年（2026年）7月22日

保護者 各位

北海道野幌高等学校長 汐 川 裕 彦

勤務時間外の電話対応の取組について（お知らせ）

盛夏の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

また、日頃から本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

北海道立学校では、学校における働き方改革「北海道アクション・プラン」の一環として、勤務時間外の電話対応の取組を実施することとしています。

つきましては、このことに伴い、本校でも勤務時間外での電話対応は、自動音声によるメッセージ対応となっておりますので、ご協力よろしくお願いします。

記

1 電話対応時間

- ・ 平日 8：00～16：50
- ・ 長期休業中の平日 8：10～16：40

上記の時間外は自動音声によるメッセージ対応となります。また、長期休業中は職員室にて職員が不在となることもあり、8月8日～17日や年末年始の学校閉庁日等においては終日、自動音声によるメッセージ対応となります。

2 欠席連絡等学校連絡

生徒の生命や安全に関わる重大事態の場合は、警察または救急等へご連絡願います。

また、本校ではclassiを導入しています。保護者アカウントからによる欠席等のご連絡をお願いしておりますので、引き続きご協力をお願いいたします。

児童・生徒の生命や安全に関わる重大事態の場合は、
警察(110番)、救急・消防(119番)に
連絡するようお願いします。

『お困りのことがありましたら、次の相談窓口をご利用ください。』

● 24時間子供SOSダイヤル【文部科学省】 電話：0120-0-78310

子どもたちが全国どこからでも、いつでもいじめやその他のSOSを簡単に相談することができます。

● 子ども相談支援センター【道教委】 電話：0120-3882-56

いじめ、不登校、学業・進路、教師との関係、友人関係、生活全般、親子関係、育児、しつけ等

● 少年相談110番【道警】 電話：0120-677-110
(平日8:45～17:30以外は留守番電話) 携帯電話からは011-242-9000

少年の非行や犯罪被害、いじめ、児童虐待等

● 児童家庭支援センター【北海道】

子どもや家庭の相談

連絡先一覧

石狩管内（札幌市除く）、後志管内：011-372-8341

渡島管内、檜山管内：0138-46-5095

空知管内：0126-22-4486

上川管内、宗谷管内、留萌管内：01656-9-2500

オホーツク管内：01584-5-3211

胆振管内、日高管内：0144-84-3780

十勝管内：0155-22-3322

釧路管内、根室管内：0154-32-1150

札幌市：011-765-1000、011-854-2415、011-591-2200、011-879-6264

● 子どもの人権110番【法務省】 電話：0120-007-110
(平日8:30～17:15)

いじめ相談

● いのちの電話 電話：011-231-4343

悩み全般

「学校閉庁日」の取組に 御理解と御協力をお願いします

北海道教育委員会では、効果的で質の高い教育活動を持続的に行えるよう、教員が心身ともに健康を保ち、誇りとやりがいをもって働くことができる環境の整備(働き方改革)に力を入れています。

長期休業期間中における「学校閉庁日」の取組は、北海道教育委員会の主導により全道の公立学校で進めています。

皆様の御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

■「学校閉庁日」とは

- 教職員が生き生きと児童・生徒と向き合うことができるよう、心身の健康を保持するため、休養を取りやすい環境を整備するものです。
- 原則として児童・生徒は登校せず、部活動も休養日とします。
- 基本的に職員が不在となるため、電話対応ができません。

緊急連絡が必要な場合は、各学校が指定する方法により連絡してください。

■「学校閉庁日」の設定期間

【夏期休業期間】

8月15日前後の3日間を基本に学校が設定

【冬期休業期間】

12月29日から翌年1月3日までの6日間

その他、学校が設定する日



お困りの事がありましたら、相談窓口をご利用ください



少年相談110番【道警】(※平日8:45～17:30以外は留守番電話)

0120-677-110

少年の非行や犯罪被害、いじめ、児童虐待等



24時間子供SOSダイヤル【文部科学省】

0120-0-78310

いじめや不安、悩み等、子どものSOS



子ども相談支援センター【道教委】

0120-3882-56

いじめ、不登校、学業・進路、教師との関係、友人関係、生活全般、家族のこと、育児、LGBT、性被害、ヤングケアラーなど

なぜ、学校の働き方改革が必要なのか？

多くの先生方は、教師という職の崇高な使命感から、「子どものためなら、長時間勤務もいとわない。」という想いで一生懸命働いています。

しかし、その中で先生方が疲弊していくのであれば、それは結果として「子どものため」にはつながりません。

先生一人一人が、日々の生活の質や教職人生を豊かにし、人間性や創造性を高めることは、より効果的な教育活動につながります。更に、教師という職の魅力が向上し、教師を志す者の広がりによって、教育全体の質の底上げや持続につながって行きます。

働き方改革は、北海道の教育の質の向上のために取り組んでいます。



— 学校で進めている取組の具体例 —

■部活動の活動時間の見直しや休養日の設定

1日の活動時間を長くても平日では2時間、休業日は3時間程度に設定し、週当たり2日以上休養日を設定しています。

■二人担任制、シフト制の導入

部活動指導で退勤が遅くなる教員は、勤務の開始を遅らせて負担を軽減するなど、二人担任制で担保し、勤務時間の縮減に努めています。

■ICTを活用した教育活動の推進

成績処理等を効率的に行う校務支援システムの導入など、クラウドサービスやデジタル教材を活用した授業の実施等を進めています。

■メールやアプリを活用した家庭との連絡

家庭との効率的かつ即時性のある連絡体制を構築するため、一斉メールや専用アプリを活用しています。

■留守番電話による時間外対応

勤務時間外の時間帯における電話は、留守番電話や応答メッセージによる対応としています。

■PTA会費等の振込、引き落としによる徴収

学校徴収金の収納事務の効率化や保護者の利便性の向上のため、振込や引き落としによる徴収等を行っています。

■学校行事の精選・見直し

地域行事との合同開催や地域人材の協力による運営など、学校行事の効率的な実施や精選に努めています。

■登下校指導等における地域との連携

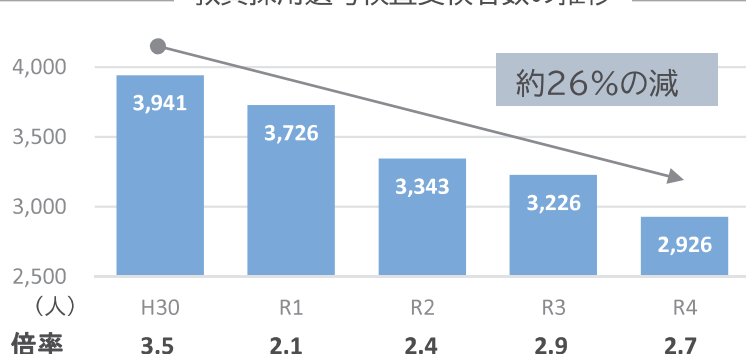
地域ボランティアの協力による、登下校時の児童・生徒の見守りを行っています。

■コミュニティ・スクールなど、地域との協働体制の構築

地域住民が学校の教育活動を支援する「地域学校協働活動」や地域住民が学校運営に参画する「コミュニティ・スクール」の導入を進めています。

※上記は学校における取組の例であり、実際の取組内容は、各学校の状況に応じて異なります。

教員採用選考検査受検者数の推移



教員志願者の減少傾向が続いています。※R4年度小学校教員の受検倍率 1.4倍

